

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 12 月 18 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

### [処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。

### [貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・12/17 10:12～12/18 9:58 移送実施
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・12/15 14:22～12/17 10:04 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・12/18 移送予定なし

2号機タービン建屋の水位が変化しないため、一旦移送を12:24に停止。現場確認により、移送ラインの切替弁が閉まっていることを確認。また、移送ラインの漏えいがないことを確認。その後、当該弁を開き、13:22に移送を再開。

移送先	移送先の水位状況 (12/18 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 1,739 mm(水位上昇累計: 2,956 mm) 12/17 7:00 から 103 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 1,678 mm(水位上昇累計: 2,404 mm) 12/17 7:00 から 123 mm 上昇

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (12/18 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (12/17 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,253 mm (12/17 7:00 から 28 mm 上昇)	O.P.+ 4,228 mm (12/17 7:00 から 28 mm 上昇)
2号機	O.P.+ 2,943 mm (12/17 7:00 から 72 mm 下降)	O.P.+ 2,949 mm (12/17 7:00 から 66 mm 下降)	O.P.+ 3,088 mm (12/17 7:00 から 49 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,124 mm (12/17 7:00 から 4 mm 上昇)	O.P.+ 3,091 mm (12/17 7:00 から 41 mm 上昇)	O.P.+ 3,326 mm (12/17 7:00 から 33 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 3,090 mm (12/17 7:00 から 3 mm 上昇)	O.P.+ 3,094 mm (12/17 7:00 から 10 mm 下降)

< 放射性物質のモニタリング >  
 海水核種分析結果 (参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	12/17	8:40	ND	0.04	0.03
福島第一 1~4号機放水口南側約330m	12/17	8:20	ND	0.02	0.02
福島第二 1,2号機放水口南側約7km	12/17	8:05	ND	ND	0.01

・その他、福島県沿岸1地点(12/17 採取分)および福島県沖合2地点(12/16 採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)については全てND。

< 使用済燃料プールの冷却 > (12/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	12.5
2号機	循環冷却システム	運転中	15.9
3号機	循環冷却システム	運転中	13.5
4号機	循環冷却システム	運転中	20

【4号機】・11/29～ 使用済燃料プールの塩分除去のため、イオン交換装置の運転を開始。

< 原子炉压力容器への注水・原子炉の状況 > (12/18 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.7 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約2.0 m <sup>3</sup> /h)	32.9	33.5	110.1 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約2.7 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約6.0 m <sup>3</sup> /h)	61.9	65.7	111 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.8 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約5.8 m <sup>3</sup> /h)	55.6	62.4	101.6 kPaabs

【4号機】【5号機】【6号機】特に変化なし

< その他 >

- ・10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・12/17 福島第一安定化センターにて復旧業務に従事する当社社員1名がノロウイルスとの診断を受けた。現時点で福島第一安定化センターにおいては当該社員以外にノロウイルスが発症したことは確認されていない。当該社員の職場等の消毒を実施するとともに、医師等の助言を受けながら、手洗い・うがいの励行、発症した際の消毒方法などの再徹底、医療班の対応体制など、基本的な項目をあらためて関係各所へ周知を行う予定。
- ・12/18 12月18日午前10時頃、構造物のパトロールを行っていた当社社員が、集中廃棄物処理施設のプロセス主建屋と雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)間のトレンチに水溜まりを発見。水溜まりの深さは約50cm、水量は約125m<sup>3</sup>と推定。また、水溜まりの表面における線量は約3mSv/h(暫定値)である。なお、至近のサンプリングにおいて、トレンチ近傍のサブドレン水に放射性物質が検出されていないことから、水の発生源は、現在のところ、地下水または結露水と推定。引き続き、流入経路の調査およびトレンチ内の水のサンプリングを行う予定。

以上